

ともに 芦

平成 30 年 2 月 6 日発行 《文責》 校長:濱崎 豊治 副校長:北村征一郎

成長を実感！ 8 年生「立志式」

「立志式」は、観瀾校 8 年生の伝統行事です。3 日の土曜授業で開催しました。7 年生も今後の見通しをもつために参観しました。初めに濱崎校長から「昔は 15 歳になる節目に元服という儀式があった。大人への成長に向けた自分の決意を披露し、家族に感謝し、友達とのつながりを深めてほしい」と激励がありました。

次に 7 年生代表から「7 年生で 8 年生に色紙を書いた。8 年生の頼もしい姿、みんなを引っ張る姿を手本にして 7 年生はしっかりとついていく。ともに歩んでいきたい」、9 年生代表からは「立志式は大人に近づく儀式。多くの支えに感謝し、目標を実現するしっかりした 9 年生になってほしい。活躍に期待し、8 年生にバトンをわたす」との御祝の言葉を贈りました。



立志の誓いでは、一人ひとりが短冊に記した「立志の言葉」をもとに、自分の思いを自分の言葉で発表しました。今の自分の弱さ（あきらめたり、にげたり、後回しにしたり、いい加減にしたり、誘惑に負けたり、適当にしたり、中途半端にし



たり、甘えたり、妥協したり・・・) を乗り越え、目標を定めて自分を磨き、自分を変えたいとの思いがしっかりと伝わってきました。生徒の言葉の節々から、自分をみつめていること、まわりとのつながりを考え、視野を広げていること、思いを深めていること等、8 年生の成長を実感し、次年度は観瀾校の最上級生となる頼もしい姿をととても嬉しく思いました。大変寒い日でしたが、最後まで多くの保護者の皆様にも御参観いただきありがとうございました。

また、小城市教育委員会の大野教育長（芦刈観瀾校前校長）様から御講演を賜りました。御自身の経験を通して「みなさんの立志の気持ちをとても嬉しく思った。小学部の頃を思い出すと、随分と立派になったなあと感じた。人生には節目となるターニングポイントがある。人はその時、迷い悩み、壁の前に立ち止まる。その壁を乗り越えるために、自分で必要な情報を集め、自分で選択する力、最後は自分で決める力を身に付けてほしい。自分の意志と力で道を切り拓いてほしい。」とエールをいただきました。厚く感謝申し上げます。



～ 8 年生一人ひとりが短冊に示した「立志の言葉」～

- 不撓不屈 ○一意専心 ○最後までやり遂げる ○最後まであきらめない ○一心不乱
- 全力疾走 ○有言実行 ○自分のやるべきことをまじめにやる ○人に迷惑をかけない
- 根気強く諦めない ○積極的に粘り強い行動 ○自ら考え行動する ○その日のうちにする
- 点滴穿石 ○何事にも一生懸命 ○努力は嘘をつかない ○人にやさしく自分に厳しく
- 報恩謝徳 ○霖雨蒼生 ○努力 ○万里一空 ○一生懸命 ○磨穿鉄硯 ○精心一到
- 考え発言する ○やりとげる ○精進 ○勇往邁進 ○凡事徹底 ○一言之信 ○粒々辛苦
- 努力を続ける ○事上磨錬 ○独立独歩 ○初志貫徹

インフルエンザ情報 ④（本日現在）

罹患者数は少なくなりました。まだまだ注意をしていきましょう。

- 小学部 …… 2 名（1 年生 1 名 B 型、4 年生 1 名 B 型）
- 中学部 …… なし